

農業分野における海外での現地説明・相談会について

令和6年5月10日
一般社団法人全国農業会議所

1. 基本情報

(1) 趣旨

農業技能測定試験（特定技能の在留資格申請に必要な試験）を実施する国において、制度の解説や試験の受験促進を目的にした説明会を開催します。その際、日本の農業経営体にも同行いただき、日本の就労現場の様子を伝えるとともに、雇用に向けた個別の相談会を実施するものです。

農業者の皆さまにとっては、外国人材の雇用にあたって現地の様子や考え方を知るとともに、日本農業の魅力を海外に発信する機会として、奮ってご参加ください。

(2) 現地の参加者（外国人材）

- ・ 高等教育機関等に在学している又は卒業した者
- ・ 送出機関に所属している者、送出機関職員
- ・ その他日本での就労を希望する者 など 各国総勢 100～200 名程度を想定

(3) 当日の内容

<説明会>

- ①日本農業に関するビデオ投影 ②制度等の説明 ③参加農業経営体の紹介

<相談会>

農業経営体と外国人・送出機関との個別面談

※農業経営体の紹介や相談会で配布する資料をご提供ください。なお、現地で相談会に対応いただいた農業経営体には、後日謝金3万円をお支払いします。

(4) 参加費

無料（渡航費用・宿泊代は自己負担）

※監理団体や登録支援機関は、農業経営体の随行としてであれば参加可能としております。

(5) 渡航について

説明会当日に間に合うよう各自で航空券・ホテルを手配いただくか、当方の行程と全く同じように動いていただける場合は、同じ航空券・ホテルを主催者が代理で手配いたします。その場合、旅行会社に係る実費を請求いたします。参加申込サイトにて、その旨の選択が可能です。

(6) その他のプログラム

説明会開催と前後して、現地の送出機関や教育機関などの視察を行います。希望する場合は参加申込サイトにてお申込みいただけます。（参加費は無料）

(7) 参加方法

各国、開催2か月前まで（目途）に参加申込サイトを開設します。

以下のページにて、都度申込サイトのリンクを掲載いたしますのでご確認ください。

<https://asat-nca.jp/genti>

2. 令和6年度実施予定国（すべて予定であり、変更の可能性がございます）

(1)インド	開催日：8月27日	開催地：ナガランド州
--------	-----------	------------

世界最大の人口を有し、今後送り出しが増加し得る国として、令和5年度に引き続き開催し、双方において受入れ・送り出しの環境整備や関係構築を進展させる。



航路：羽田空港→デリー空港→→ディマプル空港

(2)カンボジア	開催時期：10月	開催地：プノンペン
----------	----------	-----------

海外試験の受験者数が多く、技能実習制度での受入れ実績もあるため日本側の受入れニーズが認められ、さらなる受験の拡大とマッチングが期待される。



航路：羽田空港→カンボジアプノンペン空港（バンコク経由）

(3)ネパール	開催時期：12月	開催地：カトマンズ
---------	----------	-----------

令和2年度に試験開始して以降、着実に受験者が増加。海外での就労ニーズが高く、日本の農業理解を促進する。



航路：羽田空港→トリブバン国際空港（バンコク経由）

(4)インドネシア

開催時期：1月

開催地：ジョグジャカルタ

海外試験で受験者数が最も多く、令和5年度に引き続き開催することで着実に受入れの拡大が見込まれる。



航路：羽田空港→スカルノハッタ国際空港→ジョグジャガルタ空港

(5)ベトナム

開催時期：3月

開催地：ハノイ

令和5年度末より試験を開始。現在、日本にとって最大の送出国であり、適正な受入れ環境の構築も趣旨に説明会を実施。



航路：成田空港→ハノイ空港

3. 【参考】令和5年度実施実績

(1) インド

- ・ハリヤナ州パルワルの SVSU（教育機関）での開催（10月25日）
- ・アッサム州グワハティ（ホテル会場）での開催（10月26～27日）
- ・参加経営体数：5経営体（8人）
- ・現地側参加人数：対面 250人、ウェブ 50人（延べ）

(2) インドネシア

- ・バンテン州タンゲランのインドネシア農業工学ポリテックでの開催（1月20日）
- ・参加経営体数：2経営体（4人）
- ・現地側参加人数：対面 150人、ウェブ 100人

(3) フィリピン

- ・マニラ（ホテル会場）での開催（3月22日）
- ・参加経営体数：4経営体（7人）
- ・現地側参加人数：対面 150人、ウェブ 40人

<参考：当日の写真>

